

腹式子宮全摘術・腹式付属器手術・腹式子宮筋腫核出術を受けられる患者さんへ

経過	入院日	術前日	術当日（前）
目標	手術の必要性を理解し、身体精神的に準備ができる		
日付	月 日（ ）	月 日（ ）	月 日（ ）
他科受診		 麻酔科医の診察があります。	
検査	 検査 必要時、追加の検査をする場合があります		
治療・処置		 手術周囲の毛をカットし、おへそをきれいにしていきます。ストッキングのサイズ合わせをします。	 手術
内服・点滴	 薬剤師がお手持ちの薬を確認します。入院時、忘れずにお持ちください。	 お手持ちの薬をお預かりさせていただきます。	 点滴をします。
排泄			 朝に浣腸します。
食事	 制限なし	 （ ）時から絶食水、茶、スポーツ飲料は飲むことができます。	 （ ）時から飲水できません。
安静度	 制限なし		 看護師が手術室までご案内します。
清潔		 入浴またはシャワーをします。爪を切り、マニキュアを落としましょう。	
指導・説明	 手術が決まったら禁煙して下さい。	 手術室看護師が面談に来ます。手術同意書の確認をします。	 看護師より指示がありましたら、病衣に着替え、ストッキングをはきます。眼鏡、指輪、入れ歯、ヘアピン、貴金属、コンタクトレンズは外しましょう。
メモ	手術後に使用するナプキンをご用意下さい。 手術入室の時間は（ ）：（ ）の予定。時間は前後する場合があります。 ご家族の方は30分前にお越しください。 手術所要時間は（ ）時間ですが、手術室で麻酔を醒ましてから帰室します。 ご家族の方は病室か食堂でお待ちください。病棟を離れる際は、看護師にお知らせ下さい。患者さんの貴重品の管理をお願いします。		

※患者さんの状態に応じて予定が変更となる場合があります。

	術当日（後）	術後1日目	術後2日目
目標	痛みのコントロールが図れ、歩くことができる		
日付	月 日（ ）	月 日（ ）	月 日（ ）
他科受診			
検査		 血液検査	
治療・処置	 心電図と自動血圧計をつけます。	 創を観察します。	 背中に入っている痛み止めの管を抜きます。
内服・点滴	 24時間点滴します。抗生剤の点滴を1日2回します。	 点滴が1本あります。抗生剤の点滴を1日2回します。朝から飲み薬が再開になります。	 抗生剤の点滴を1日2回します。
排泄	 手術室で尿の管を入れます。	歩けるようになったら尿の管を抜きます。	
食事	 飲食できません。	 朝から飲水できます。初回は看護師がつきそいます。朝～流動食 夕～五部粥食	 朝：五分粥食 昼～全粥食
安静度	 ベッド上安静血栓予防のため、2時間を目安に寝返りしましょう。	 術後合併症予防のために歩行を頑張りましょう。初回は看護師がつきそいます。	
清潔	シャワー浴ができるようになるまで、看護師がタオル清拭します。		
指導・説明	 手術について医師から家族へ説明があります。痛みを我慢せず、看護師にお知らせください。	 歩けるようになったらストッキングを脱ぎます。	
メモ			

	術後3日目以降	術後7日目	術後8日目以降
目標	退院後の生活のイメージができて退院を迎えることができる		
日付	月 日 ( )	月 日 ( )	月 日 ( )
他科受診			
検査			
治療・処置	 創のガーゼを外します。		
内服・点滴			
排泄		制限なし	
食事		普通食	
安静度		制限なし	
清潔		医師の許可により、シャワー浴ができます。	
指導・説明	 退院診察（退院後の生活について医師から説明があります） 入院時にもらったパンフレットをお持ちください。		 退院日が決まりましたら、次回受診などの説明をします。
メモ	退院後の生活について不安なことがありましたら、遠慮なくご相談ください。		